

# TaiwanNote

徒然なる夏

台灣漫畫博覽會

7  
2023

# 徒然なる夏

本来7月と8月はMTC(春学期もお世話になった語学学校)の夏期講座に参加しようと思っていたのだが、色々あって諦めた。学校がないと人間関係が本当に狭まるし、ほとんど寮の部屋にいるおかげで座り続ける体力ばかりついていく。

今月書くこと浮かばないなぁとウダウダしていたら報告書のメ切が近づいてきたので、YouTubeのゆる言語学ラジオを聞きながら慌てて報告書に取りかかっている。

以下、とりとめのない内容であることをご了承ください。

## 夏期講座は満員？

まずは夏期講座をあきらめた経緯を紹介する。(本当は6月の出来事だが書けなかったのここに書こうと思う)

交換留学生はMTC正規学生とは別に申込期間が設けられていると聞いていたのだが、手続きに行くと「今年の夏期講座はもう満員です！」と言われてしまった。何ということだ…。

でも、まあ定員ならば仕方がない。同じく暇を持て余した友人と自分たちで勉強しようか〜と心を決めた。

その後、別の友人から「違うスタッフさんに対応してもらったら夏期講座申し込めたよ！」と連絡があった。ドウテ…。どうやら交換留学生とMTC正規学生の扱いが違うということがスタッフ内で周知されていなかったらしい。

諦めない心と、組織内の情報共有は大事なんだなぁと実感した一件だった。

## クレジットカードをつくろう

日本のクレジットカードで十分生活できるのだが、寮費の支払い台湾クレカのみとのことだったので、つくってみた。

台湾で銀行口座を開設するのに必要なものは

1. ARCカード(台湾での身分証)
2. マイナンバーカード
3. パスポート
4. 学生証
5. 印鑑

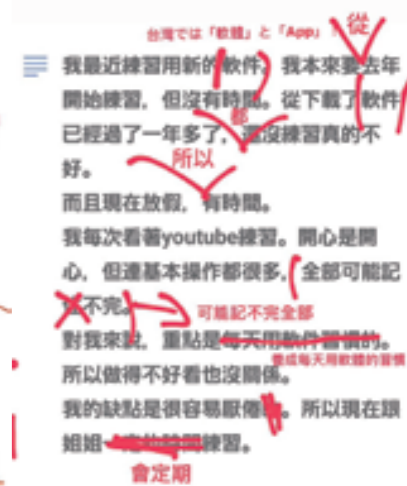
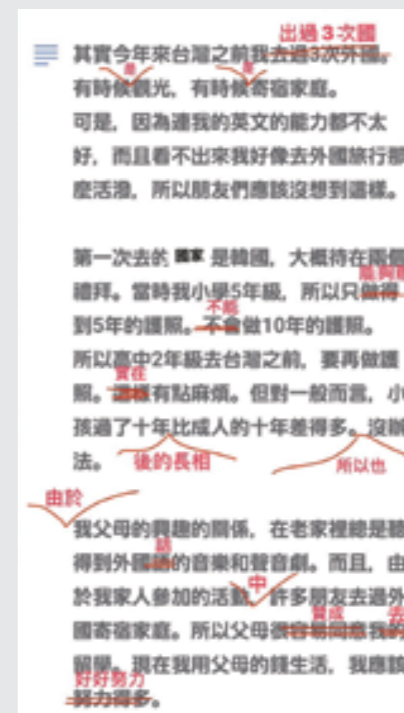
の以上5点(※私の場合)で、数時間の手続きを経て、その場でカードを受け取れた。早い！後日、さっそく後期分の寮費を台湾クレカで支払うぞと意気込んで手続きをしたら「そのカードは使えません」と言われてしまった。あれ…台湾の銀行のカードだし、ちゃんと提携銀行のはずなのにな…。

よく見たら私のカードはデビットカードだったから処理できなかったのかもしれない。残念。結局、後日現金で支払った。

## 台日言語交換会 SUMMER ver.

週に一度の言語交換会は夏休みの間も健在(詳しくは5月の報告書)。作文の添削を見ると、文法ミスの時もあれば、台湾の習慣的な指摘の時もあって、やはりとても勉強になる。言葉には文化がよくあらわれるなぁ。

話していると楽しくて、いつも22時前に解散なのだが、よく考えたらこれはすごい。夜でも安全に、安心して外を歩ける。治安はほとんど日本と変わらない。



## 髪の毛を切る

台湾に限らず、外国で髪の毛を切るとなると、誰しも少なからず緊張するだろう。髪の毛の失敗はリカバリーが大変だからね…。

値段はピンからキリまでといった感じで、私が聞いた限りは200元(大体900円)が最安値だったが、安すぎて不安だったので350元のところにした。

はじめはショートにしようとしていたが、店員さんに「髪結べるほうが良くない？」と言われたので「お任せします！」と丸投げした。今思うとかなり冒険だったが、全然問題なく満足な出来だった。

髪を切った友人らを見るに、女性はあまり失敗していない印象。というより、髪を切った男性陣は何故か総じて台湾刈り(ツープロック?)なので、台湾男性の髪型レパートリーが少ないのかもしれない。

## おいしい果物

台湾は果物がとても美味しい。はじめて台湾でパイナップルを食べた時は感動した。酸っぱくない！甘い！缶詰じゃないのに！

私は包丁を出したり洗ったりするのが面倒でカット果物以外は買わないのだが、私のルームメイトは果物を丸々買ってきては切ってよく分けてくれる。ありがとう…！

↓この白くまパイナップル最高に可愛い。



# 台灣漫畫博覽會

## 台灣漫畫博覽會とは

毎年10万人を動員する、台湾のアニメ・マンガ・ゲームの一大イベントである。台湾の文化部(文化庁のようなもの)も指導として関わっているらしい。

7月のメインイベント来た～～!!グッズを買うぞ!散財だ!と意気込んでいったものの、イベントの規模を見誤っており(思っていた以上に人多かった)、一番の目当てだった作品のグッズ整理券はゲットできず…。ただ、無料配布のものはゲットできたからよし!



## がんばれ!列整理

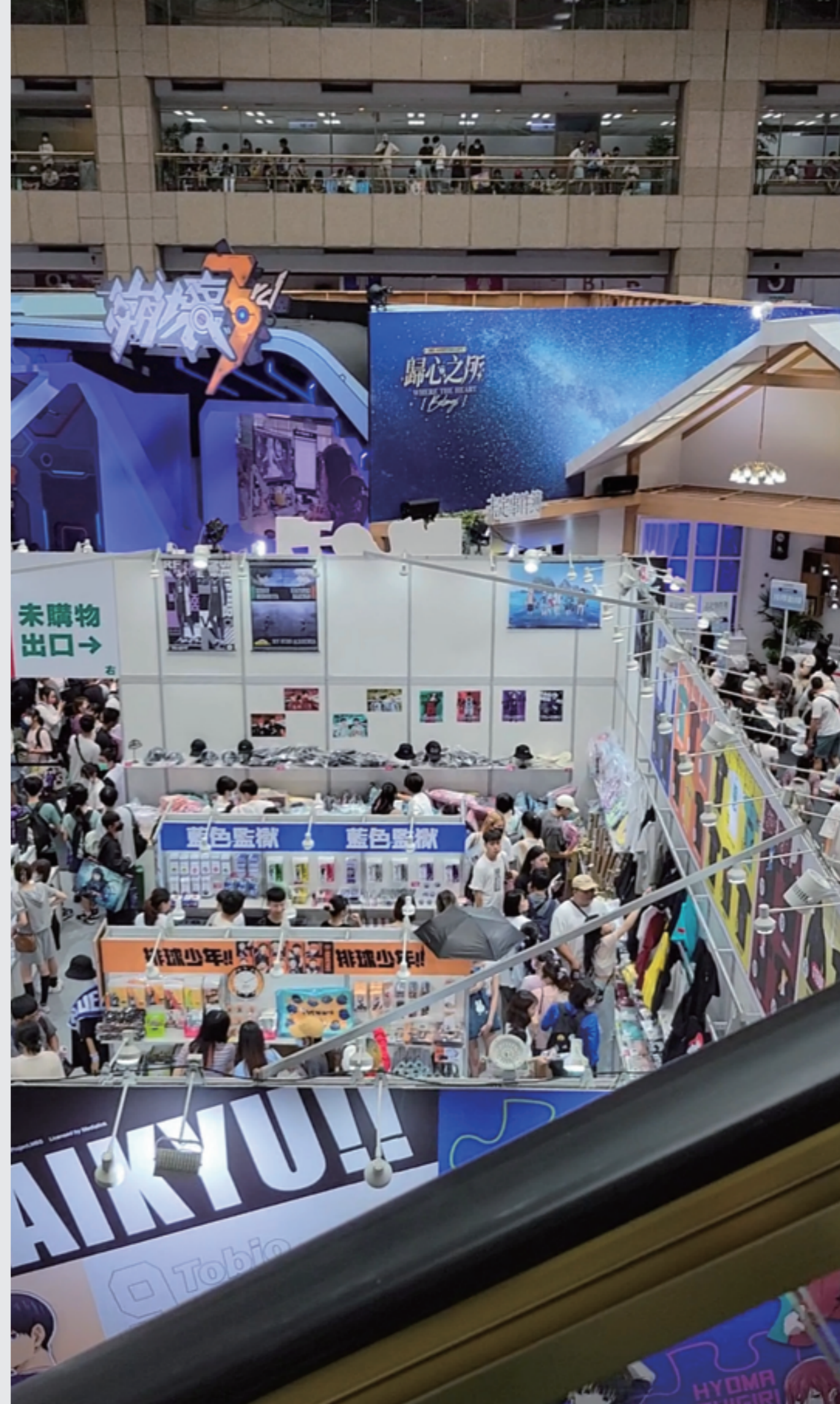
スタッフに対してお客が多すぎるからか、列整理が上手くいっていない場が散見された。誰が列に並んでいて、誰が通行人なのか、どこに列があるのかが全く分からない。私が並んでいた列も気づいたら3つあった(想定は一つだったろうに…)

まさに戦場。

私の前に並んでいたお客さんが別のお客さんを案内していて、もはや列整理のスタッフ同様の働きをしていた。



▲周りの台湾人に「これ列?」と何度も確認しながら並び、やっとの思いでゲットした風船。向著星辰與深淵!



漫画博覧会の様子。一階はメイン会場、二階は休憩スペースとなっている or にされている (29日撮影)